

広 報

ふじがわ

9月号 昭和60年9月5日発行 No.290

町のメモ

昭和60年9月1日現在	
人口	16,974人
増減	0人
男	8,357人
女	8,617人
世帯数	4,403世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



守り受け継がれてきた川供養

(大北区川かんじい)

町のことしの目標
笑顔であいさつ明るい町に

おもな内容

- 2～3ページ 改正された道路交通法のあらまし
- 4～5 町のわだい…ふれあい広場、ふるさと学級いかだくだけり
- 6～7 広報ディスカッション
- 8～9 ママさん記者が取材中「松野人形劇サークル」、まちの昔ばなし伝説
- 10 戸籍の窓、辛夷俳句会

昭和60年 各区のことしの目標

- 明るい町づくりは家庭から (川坂)
- 人の和で明るい住みよい暮らしに (新町本町)
- 明るい町は家庭から (四十九町)
- ふれあいの輪に入りましょう (宮町)
- 笑顔であいさつ自分から (小池)



騒音運転等が禁止されました
昭和60年9月1日施行

著しく他人に迷惑を及ぼす騒音を生じさせるような方法で、急発進、急加速、空ふかしをしてはいけません。

☒違反：行政処分点数一点



自動二輪車の初心運転者は二人乗りができません
昭和60年9月1日施行

自動二輪免許を取ってから一年に満たない初心運転者は、二人乗りをしてはいけません。

☒違反：行政処分点数一点、反則金四千元



初心者運転車の講習が義務づけられました
昭和61年1月1日施行

免許を取ってから一年未満の者のうち、行政処分累積点数が初めて四点または五点に達した者は、公安委員会の行う講習を受けなければなりません。

違法駐車車両の移動後の措置
昭和60年7月25日施行

移動保管した違法駐車車両のうち、ひき取りのない車両は、所有者等に返還できるまで警察で保管していましたが、次のように改正されました。

(1) 保管公示後三ヶ月経過し、保管に相当な費用がかかる時は車両を売却し代金を保管できる

詳しいことを知りたい方は

道路交通法の改正について、詳しい内容を知りたい方、ご質問のある方は、県警察本部交通企画課（☎〇五四二一五四四三五一、内線六三三三〇五・七〇六）、または、蒲原警察署交通課（〇五四三三八五一一三二一）に照会してください。



ことになりました。

(2) 保管公示後六ヶ月を経過しても、ひき取りに來ない時は、車両（又は売却代金）の所有権は県に帰属します。

道路交通法が一部改正され 9月1日から段階的に施行されます

道路交通法がこのたび一部改正されました。この改正に伴い、交通安全協会富士川分会では、蒲原警察署の協力を得て、「道路交通法改正講習会」を8月6日から9月6日にかけ十六会場で行ってまいりました。今月号では、ドライバーのみなさんなどに、改正された交通法をより理解していただくために、講習会で説明した改正点のあらましについて、みなさんにお知らせします。

シートベルトの着用が義務づけられました

昭和60年9月1日施行

(1) 運転者は、すべての道路においてシートベルトを着用して自動車運転しなければなりません。

(2) 運転者は、助手席同乗者にもシートベルトを着用させるよう努めなければなりません。

(3) 運転者は、後部座席の同乗者にもシートベルトを着用させるよう努めなければなりません。

ただし、怪我、病氣、妊娠中



で着用することが適当でない場合は着用義務が免除されます。

※高速自動車国道・自動車専用道路において、運転者がシートベルトを着用しないで自動車を運転した場合には、行政処分点数が科せられます。

●県内の自動車専用道路
国道一号浜名バイパス、国道一号藤枝バイパス、国道一三九号富士宮道路、国道一三九号西富士道路

原動機付自転車もヘルメットの着用が義務づけられました

昭和61年7月5日施行

(1) 原動機付自転車の運転者は、すべての道路において乗車のヘルメットをかぶらないで原動機付自転車を運転してはいけません。

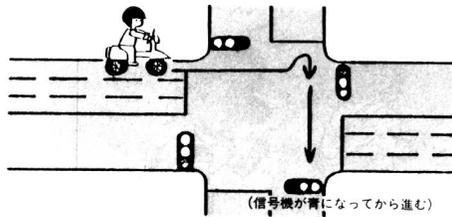
(2) 自動二輪車については、四十

原動機付自転車の右折の方法が変まりました

昭和61年1月1日施行

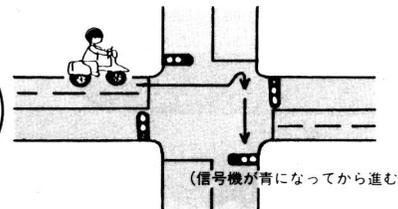
次の交差点では、自転車と同じ右折方法（二段階方式）を行うことになりました。

(1) 道路左側部分に車両通行帯が3以上（多通行帯という）設けられ交通整理が行われている交差点



毎時以上の最高速度が定められている道路のヘルメット着用について行政処分点数一点が科されていましたが、改正後は速度限定がなくなりすべての道路の不着用について点数が科せられます。

(2) 道路標識等により指定された交通整理の行われている交差点



☒違反：行政処分点数一点、反則金二千元

ヘルメットの正しいかぶり方

目深にかぶらない
大きすぎないこと



改正規定の施行期日・反則金・点数一覧表

改正事項	施行期日	反則金	行政処分点数	備考
シートベルト着用義務	昭60・9・1	—	—	一点（高速自動車国道等で運転者の不着用）
原動機付自転車のヘルメット着用義務	昭61・7・5	—	一点	—
原動機付自転車の右折方法	昭61・1・1	二〇〇〇円	一点	一万円以下の罰金又は料
自動二輪車初心運転者の二人乗り禁止	昭60・9・1	四〇〇〇円	一点	三万円以下の罰金
騒音を生ずる運転等の禁止	昭60・9・1	—	一点	—
初心者運転者の受講義務	昭61・1・1	—	—	—
違法駐車車両の移動後の措置	昭60・7・25	—	—	—

第二回ふれあい広場が盛大に

あすをになう青少年の非行防止を図るとともに、子どもからお年寄りまでのふれあいを深めあうことを目的として、8月25日午前9時30分から老人福祉センターの構内で、町社会福祉協議会主催の「第二回ふれあい広場」が盛大に行われました。

当日広場では、子ども会育成会、日赤奉仕団、手をつなぐ親の会など十八団体の即売



広場は参加者でいっぱい



ピンたおしゲーム中の子どもたち

二小校舎耐震補強工事 まもなく完成

予想される大規模地震に耐えられる校舎に造り替えることを目的に、7月20日から9月10日の工期で、町立第二小学校（鈴木修一校長・児童六百四十六人）校舎の耐震補強工事が行われてきました。

昭和43年に建設されたこの校舎は、昭和55年実施された耐震診断の結果、補強が必要との結論に達し、このたびの工事となりました。

工事は、十二の普通教室、職員室、特別教室の北側と西側の外壁の一部を、現在の十二センチから約二倍の厚さにして外壁面積を増やし、より強固な建物にする内容で行われてきました。

この耐震補強工事に要する経費は約九千五百万円で、国库補助金、町費、簡易保険・郵便年金積立金融資産があてられました。

町長提出議案二件可決 第五回臨時会

町議会第五回臨時会が、8月19日午前9時から議場で開会されました。

この臨時会では、町長提出議案二件が審議され、すべて原案どおり可決されました。

可決された議案は次のとおりです。

●昭和59年度富士川町中央公民館本館建設工事変更請負契約

「安全で快適な地域づくり」

「県民と知事と話し合う会」

町からの代表者発言は、錦織孝臣さんが、安全で快適な地域づくりの中で、自然環境の保護と利用について――庵原地域での山間地の開発、農業振興指定地域の見直しなどを取り上げ、知事の考え方を聞きました。また他のテーマの関連発言として、渡辺幸一さんが農業の振興について、太田美美子さんが婦人の海外派遣事業について意見をのべました。代表者の錦織さんの質問の中で知事は「農振法でいろいろと規制がある。みんなの知恵を働かせて富士山という貴重な資源を地域に役立て

7月30日静岡市の県工業技術センターで、県知事の広聴事業の一環として、静岡庵地域（県民代表約百人）が出席し、「県民と知事と話し合う会」が開かれました。

この会は、安全で快適な地域づくり、地域産業の振興、健康で心豊かな人づくりの三つのテーマごとに代表者が発言し、そのテーマに促した意見や提言などを出席者の中から求め、知事が回答していくという方法で行われ、町からは町民の代表として十二人、オブザーバーとして常葉雅文町長、佐野喜平議長が出席し

わだいの

ふるさと学級生

いかだくんだりを体験

8月12日木島河川敷スポーツ広場付近の富士川で「ふるさと学級富士川いかだくんだり」が行われました。

このいかだくだりは、子どもたちが手作りのいかだに乗り、川くだりを体験することに、富士川の自然に触れ、その豊さを身をもって体験することや昔甲州と行われていた舟運の

歴史を実際肌で感じとることなどを目的として行われました。

当日参加した約五十人の子どもたちは、普段できない貴重な体験に大喜びでした。

なお、富士川は遊泳が禁止されていますので、注意してください。



初めてのいかだくだりに大喜びの学級生



楽しい子ども料理教室開催

「若鮎グループ」

8月23日一・二家庭科室で、若鮎グループ（深沢美智子会長・会員二十九人）主催の「楽しい子ども料理教室」が開かれました。

この教室は、栄養のバランスを考えた料理作りの中で、子どもたちに作ることの楽しさや物の大切さを勉強してもらうことなどを目的として行われ、参加した約五十人の子どもやお母さんは、協力し合いポテトドーナツや炒めごはんづくりに挑戦していました。



お母さんの指導のもとに料理づくりに挑戦

コンピュータX線横断層撮影装置を更新

共立蒲原総合病院では、昭和52年11月県下二台目として導入したCTスキャナの老朽化に伴い、この度、年金積立金還元融資九千五百万円で、

最新の装置に取り換えました。

この装置は、交通事故などによる頭部外傷及び脳卒中脳腫瘍、脳血管障害、腎臓の内臓疾患の発見にも大きな力を発揮し、総合病院として不可欠な装置となっています。

最新鋭の装置は、従来の型より撮影時間が短縮され、診療がさらに能率的になり早期発見と正確な診断によって地域医療の向上に大きな役割をはたすことができます。



導入された新型の装置

るようしていきたい」と答えました。

当日出席された方は次のとおりです。（敬称略）

- 錦織孝臣（八幡町） 小林正子（幸町） 若月幸江（宮町） 渡辺幸一（堺町） 太田美美子（旭町） 清水智之（富士見町） 小澤弘（本通三） 瀧悦雄（坂下） 風岡肇（俣下町） 川村清（相生町） 太田彰一（坂下） 杉山好明（大北町）



県民と知事と話し合う会



はば広い講座や活動を

旭町 太田美美子さん(7)

文化活動の拠点となる中央公民館の設立は、私だけではなくだれもが待ちこがれていました。建物は、モデル的な設計で作られているようですので、これからは子どもからお年寄りまで参加できる講座や活動を期待します。

例えば、いくつかあげてみましょう。

◎私一人ではできないことも、若い人とお年寄りの声を合わせずばらしいハーモニーを作り出すコーラス教室。

◎子どもたちの持つ限らない夢を大人と一緒に演劇の中で表現していく児童劇団。

◎絵は見るだけだったけれど、これからは描いてみたい人が勉強できる絵画講座。

◎古典文学講座。

◎英会話などあります。時にはすばらしい音楽の夕べ、町民ギヤラリー、教養的な講演などあれば……もっと楽しいと思います。

また、図書室もりっぱになり、今まで図書館ばなれしていた人、子ども連れの人も入室できるような設備も整い、多くの人たちの利用を待ち望んでいます。

みんなで積極的に利用しよう

八幡町 錦織信子さん(45)

「中央公民館」五百人収容の大ホール、最新鋭の照明設備、多目的使用の部屋、茶室、図書室とすばらしい施設だそうです。念願の施設は完成しますが、後の問題は利用する私たちにあります。このような田舎だと情報もテレビ、新聞だけがたよりで、今までは町外まで出かけるいと講演会や展覧会の機会もありませんでした。しかし、これ

それに比較すると精神面の手当が遅れている気がしてなりません。その意味で、今回の中央公民館に寄せる期待は大きなものがあります。百科事典では「町村民が常時集まり談論し、読書し、生活や産業上の指導を受け、相互の交友を深め、教養文化を高めるための場所」と説明されています。教養と文化を高め潤いのある街、ゆとりのある町、活力ある街、そんな街づくりの中核となり、積極的な活動を展開されることを期待いたします。

10月号のテーマ

夏休みの思い出

あつて、さういふときはあさきいけど、まん中のほうにいくほどふかくなっている、そこは、わたしのはなのしたのへんまでみずがきました。そんなことはしらなかつたから、とびこんだらおぼれそうになつて、びつくりしてしまいました。いまは、小プールのたてがおよげようになつたから、六きゆうになりたくて、がんばつてれんしゅうしています。



藤原善子ちゃん (大北町) (二小一年)

ほいくえんのときは、なつやすみがなかつたけれど、がつこうにはいつたら7月24日から8月31日までのながいやすみがあるなんてしらなかつたので、おねえちゃんに、なんべんも、なんべんもきいていたら、さいごには「もう、しらないよ」とおこられてしまいました。だけど、なつやすみがあつて、わたしは、あずまちゃんのおぼあちゃんたちにあうことができたし、にしのみやのおとうさんのじつかにいくこともできたので、とてうれしかったよ。それに、ほいくえんのプールは小さくてあさかつたけど、がつこうのプールは小さいプールもあつて、ほいくえんにはない大プールもあつたよ。大プールは七コースまで

消えた屋上の夢

新町本町 菊地信義さん(7)

多年の懸案であった、町民希望の拠点とする中央公民館がいよいよ現実化し、その落成を心から祝福する一人である。

八億円に余る汗と脂の税金の所産が、町民の文化と福祉の向上に最大の機能を発揮することを強く希望する。貴重な運営費が、思わぬデメリットでハネ返ってくることを危惧するがゆえ、各方面のボランティア活動を導入し、極力専属役職員の行革を断行して欲しい。世紀のチャレンジであった世界大戦の窮境、困苦欠乏に耐えてきたことはいうまでもなく延々と続いた大正時代の不況の怒濤にしごきぬかれた私でも、時代の趨勢で

今の若い世代に身を粉にせよ会得と見習えとはいえないが、諸般の低コスト追求は人類永遠の課題であろう。たとえ、わずか十三坪の車庫の屋上でも、十三種類の野菜が、七人家族で食べ切れないほど自給自足を、七年も続けている事例だ。広大な公民館の起工を見て悠に三面ぐらいなゲートボールコートが可能かと、心ひそかに、最高の地の利、最低の工費兼備、県下にまれなユニークなコートがとろん気分期待していたが、無惨夢と消えた。屋上空間をうらめしげに見上げ、もつたいないなあと思う一方、外見美観を考えない低劣な時代錯誤の溜息と愚劣な浅慮を省み、老ぼれ今は託しく自嘲慨嘆している。

文化活動の中心に

堺町 相馬香也子さん(31)

「地方の時代」といわれるようになって久しいですが、地域住民の身近な場所、それぞれ文化を考えることが個人の幸福につながることに気がついてきました。その点で今回新しく建設された公民館が、町民一人ひとりにとってより身近な存在になり得るような運営を期待しております。

いろいろな事情で地域の社会活動に参加することがなかったこともあり、私個人にとっては、公民館は縁のない存在でした。

一方、地域に生きる青少年たちにとって、夢・希望を与えることのできる施設となるよう願っています。このことは、完成後の利用方法、企画内容等によることが多いと考えられます。なぜ、青少年を取り上げたかといいますと、文化継承の担い

開放性を持つ

宮町 坂口和子さん(40)

今、文化の殿堂となるべき、中央公民館の完成を控え、町民の一人として大きな期待を寄せています。

理由の一つは、新公民館が町の「顔」となり、町内外を含めた一大コミュニケーションの場となり得るからです。つまり、文化的行事等を中心とした「精神的豊かさ」を共有することができ、また、老若男女の別なくそこに集まり、語り、見聞きすると同時に、生活の潤いも生じてくると考えられるからです。

- 10月号のテーマ 「夏休みの思い出」
- 字数 400字づめ原稿用紙一枚以内
- 締切日 9月21日(土)まで
- 投稿先・問合せ 富士川町役場総務課 岩淵2番地
- 注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切日までに投稿してください。



手が青少年たちであること、更に精神的文化の弱さを克服してやる必要があることを挙げねばなりません。

やがて、社会教育的教室も開かれることでしょう。できる限り開放性を持ち、利用者にとって快適な施設であることを望みます。

ママさん記者が取材中



「松野人形劇サークル」

立秋とは名ばかりで暑い日が続く中、私たち広報モニターは松野児童館に「松野人形劇サークル」のみなさんを訪ねてみました。

このサークルは、昭和56年の母親クラブクリスマスの際に、「何か子どもたちを楽しませるものはないか」ということから人形劇を始めたのをきっかけに、翌年から人形劇サークルとして発足しました。

当初二、三人で始めたこのサークルも、現在では、代表桜井裕子さんを中心に会員十二人と大きく膨らみ、幅広い活動を

展開しています。

一年間の主な行事は、8月の児童館まつり、11月の七歳祝い、12月のクリスマスマスの出演だそうです。普段の練習は月一回のようですが、このような大きな行事が間近になると、練習も週二回になることもしばしばあるようです。

出演する人形は、すべてリサイクルを利用した手作りですがとてもリサイクルで作られたとは思えないほどすばらしいものばかりです。

演出、構成もすべて会員が分担し合い行っています。現在は、かえるのケロちゃんというマスコットを進行役とした「赤おにと青おにの物語」や「グリとグラ」という野ねずみの物語に、新しいゲスト人形を作り出演させ、レパートリーを増やしています。

これからは更に、町に古くから伝わっている物語や悪者を扱った物語なども取り入れていきたいということだそうです。そして、もっとサークル向上のため、手の動かし方や表現の表わし方など専門的に勉強していきたいと、とてもみなさん熱心で

した。

松千代保育園などに出張公演されていますが、みなさんからの希望があれば、都合のつきかぎり積極的に出かけていきたいということでも「松野児童館へのご連絡をお待ちしています」と、みなさん瞳をかがやかせて話をしてくださいました。

会員のほとんどの方が仕事を持っているため、夜集まることもあり、ご家族の方たちの協力や理解があつてこそはじめて人形劇ができるご家族への感謝の気持ちも忘れないで練習している姿に感動しました。

(広報モニター 植松智子)



練習を見学する広報モニター (写真左側二人目が植松智子さん)

▼社会教育あれこれ▲ コップ半分の水

立秋はとくに過ぎたというのに、陽差しの強さは真夏並みで、街を急ぐビジネスマンの背広姿は実に暑そうで同情を禁じ得ない。「夕涼みよくぞ男に生まれけり」とは昔の話であつて、少なくとも街歩く姿を見るかぎり、女性の服装を見るところらやましいかぎりだ。

こう暑いといつ涼を求めてというのが人情で、その方法は千差万別。海や山など、それはまた夏の楽しみでもあるのだが。

ところでこの暑い時、街を歩いていて困ることは喉の渇き。子どもなら自動販売機でカンジュースを求めるところもできるが、我々はなかなかそうもいかず、つい喫茶店や冷たいコーヒーでもと思うのが普通だ。冷房のきいた室内でやつと腰をおろし、そこで出されたコップ一杯の水のうまさ。あの喉ごしのよさはどんなにも経験ずみのことと思うが、生き返った心地がする。

もし、その時のコップに水が半分しか入っていなかったとしたらどうだろうか。こんな暑いのに半分しかよきさないなんてと口の中でプツプツ不平タラタラという人もいるだろう。逆に人によってはありがたいと思いつつながらその半分の水で喝いた喉をうるおすにちがいない。たった半分の水にも人それぞれ思いは様々なのだ。

このような例はいくつだつてある。サッカーに興じる小学生にとつて運動場は狭いかもれないが石拾いをすれば何て広いものだと思うだろうし、趣味に過ごす一時間と勉強に費やすそれとは大きな違いがある。

人間とはまったく勝手な生き物だと思ふ。いつでも周囲の出来事を自分を中心において価値判断をして生きているのだ。だから、わずかコップ半分の水にさえ、不平こそ言えても感謝を忘れてしまつてゐる。

今の青少年の問題行動の根っこにあるものは、実はこのあたりにあるのではないだろうか。



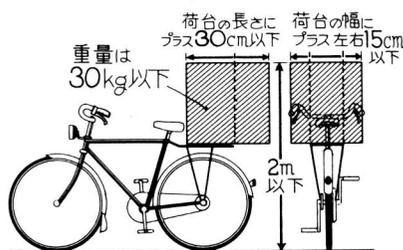
家族で話し合おう 図解交通安全

荷物を積むときも規則があります

自転車で重い荷物を積んで、フラフラしながら走っていると、思わぬ事故を起こしかねません。

自転車で荷物を積むときにも規則があることはご存知ですか。荷物の重さ、幅、高さについての制限があります。

- 長さ…荷台の長さ三十センチまで
- 幅…荷台の幅三十センチまで (片側十五センチまで)
- 高さ…荷台に乗せた荷物が、地上から二メートルを超えないこと



制限は、各都道府県公安委員会規則によって若干違いがあります。

制限内の荷物でも、しっかり固定せず、片手で荷物を押さえ、もう一方の手だけで運転するのは絶対にやめてください。荷物はしっかり固定させ、必ず両手で運転しましょう。

8月の交通事故

人身事故	5件(3)	合計13件(7)
物損事故	8件(4)	
富士川身延線	2件(2)	
国道一号线	6件(3)	
町道	3件(1)	
県道	2件(1)	
その他	0件(0)	

()は昨年

おもせの火

まちの昔ばなし 伝説(一)

町教育委員会は、昭和55年度七十二人の婦人に調査員を委嘱し、町内に残存する昔ばなし・伝説などの調査を行い、翌年この資料をもとにふるさと富士川第二集昔ばなし伝説を発刊しました。

今月号から、この第二集をもとに、町の昔ばなし伝説をシリーズで紹介していきます。

昔しや、大歳(大晦日)の晩には、よつぱとい(晩中)火代(ひじろ、いろり)で火を燃やしてな。今年の火を消さないようにしけーが。

ある家で、女中がな、明日の元日の雑煮に入れる芋を煮ていたらな、日頃の疲れが出てきたつてゆうか、どういうわけか、寝てしまっただよ。女中がふと眼をさますとな、火代の火が消えてしまつてただよ。大歳の火は決して消してはならないといわれているもんだから、女中は家の人に怒られるのがこわくて、どうにかして火をつけたいと思つた。

だ。それで真夜中だったんだけど、火種をもらおうと思つて外に出たら、丁度提灯つけた人相の悪い人たちが来たつてさ。女中はおっかなびっくり、この人たちに近づいてな「火代の火を消してしまつたんで、火種にその提灯の火をもらいたい」といつたんだよ。そうしたらな、その人たちがいうにや「火種はくれてやるが、おれたちの仲間が死んだんで、このとほらい(ここでは死人のこと)をあずかつてくれ」といわれただ。女中はどうしようかと困つてしまつたんだけど、火代の火種のほうが大切だもんで、とほらいをもつて帰つてな、には(土間に置いて)いて、火代の火を付けて、芋を煮たつていうことだよ。

そいでな、元日の朝になつて、家の人が起きてきたんで、夕べこんなことをしてしまつたつて、一部始終を話したつてさ。家の人が「とほらいはどこにおいてあるんだ」と聞いたんで、にはにおいてあるといひながら、とほらいの置いた方を見たら、とほらいが小判になつていたつてさ。

戸籍の窓

S 60・7・15〜8・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
室野	望月鷹英	活由	長男
相生町	小林真人	澄夫	二男
旭町	望月鮎美	昭彦	長女
堺町	久保田興輝	昇	長男
宮町	土橋裕太	康一	二男
〃	松下晃祐	守男	長男

かなしみ

区名	氏名	年齢
本通四	望月涼平	一
東町一	惣野代慎	隆
〃	柳原一成	弘和
東町二	城田莉那	尚幸
富士見町	大石 岳	謙二
八幡町	吉井宏光	眞治
大北町	佐野拓也	昇
俣下町	高岡美琴子	英二
〃	石川未佳	和司
舟山町	望月源作	七八
堺町	天野卯一	八二
宮町	堀越貞子	七二
幸町	佐野 晃	四三
〃	志村富江	五七
〃	芦川雅巳	五六
〃	栗本隆子	六一
東町一	水野信夫	五三
東町二	土田チヨ	七六
〃	依田みさを	七六
日の出町	菊地定雄	六〇
富士見町	久保田みき	八一
大北町	宇佐美 節	七七
俣下町	朝比奈さと	八二

一里塚



日本航空二二三便の墜落事故は、この夏発生した数多くの事故の中では最も衝撃的な事故であり、航空機事故の恐しさをまざまざと教えてくれた。

この事故状況などは、連日テレビや新聞によってくまなく報道され、日を追うごとに悲惨な状況が明らかになっていった。

8月末頃購入した数冊の週刊紙は、すべてこの事故を写真入

りトップ記事で掲載していた。文章はともかくとして、その中の一部の写真は、想像を絶するもので、あまりにも無惨であった。われわれに正確な情報を早く、日夜取材活動に東奔西走された記者諸氏には申し訳ないが、人命尊重が叫ばれる中で、死者の尊重はどうなっているのだろうか。写真報道の方法や限度は、難しい問題も山積していると思うが、再考を要する時期にきているのではないだろうか。

断腸の思いで生活していると思う遺族の方々は、一日も早く立ち直って欲しいと思う。しか

最後不幸にして亡くなられた五百二十人の方々のご冥福をお祈りしたい。(H・K)

町への寄付金 (敬称略)
S 60・6・29〜7・31

五十万円 中央公民館建設事業へ
五十万円 望月 勘一(小山) 社会福祉事業へ
五十万円 株式会社清水銀行

お母さんの知恵袋

今、日本の子どもたちの間で「いじめ」の問題が騒がれていますが、ヨーロッパの小・中学生では日本のようないじめはあまりないようです。また、登校拒否という現象も見られないようです。

なぜわが国のような豊かな社会の子どもたちにこのような現象が生じてしまうのでしょうか。よくいわれることですが、三つの間がないといわれています。一つは遊ぶ時間がない。二つは遊ぶ空間がない。三つは遊ぶ仲間がない。といわれています。本来子どもたちの遊びは、仲間たちと外で動き回って遊ぶのですが、今の子どもは一人で部屋の中で、まんが本を読んだり、テレビやパソコンなどの機械を相手に遊ぶことが多いようです。

子どもたちの生活が変化してきたということは、親の育て方や親の子どもに対する期待内容が大変かわってきていると思われれます。高学歴社会になり、日本の社会に大きな活力を与えています。それがいろいろの歪みを生じ「いじめ」は一つの表われではないでしょうか。

俳句会

文協俳句部辛夷俳句会 (法月幸子選)

八幡町 西森千鶴江
寒狭川水の豊かに青嶺聳つ
大北町 川崎 麻子
深山桔梗雨ひとしおの濃むらさき
富士見町 錦織 好江
女手にかなふ広きの茄子植うる
東町二 望月 喜子
沢蟹の一つ走るや庫裡の土間
南町一 望月美奈子
白髪にゆつたり結ぶ単帯
富士見町 清水 淑子
のび伸びし蔓むらさきや雲の峰
堺町 伊東す江の
吊橋の綱へ汗濃き指のあと
舟山町 植松かつ子
祝婚や母白扇に背を正し
八幡町 白井十世子
手花火の火玉落ちんと又咲けり
上町 斉藤つね子
名を呼びて心経唱ふ墓参かな
清水町 白井滋賀子
築漁の鮎のしぶきの匂ひけり
八幡町 鈴木りつ子
真炎天墓所への道の人を見ず